

総務委員会事業計画

- (1) 北海道ボウリング場協会会費
平成27年度4月より北場協会費をレーン当たり1,500円とした
本年度は、期中においてレーン数の減少センター、閉鎖センターを考慮し、協会費年間10,053,000円、事業収入他2,100,000円、その他をプラスした、総額12,154,000円もって北場協の全ての事業を遂行する
なお 別徴収していた特別振興活動費については引続き休止のままとする
- (2) 高齢化社会への取組
シニア層のなお一層の固定化を目指す上でも、従業員にシニア向け対応・対策の講習会、ドリル講習会などが開催出来るよう各委員会とも協議検討していきたい
- (3) 北場協ニュースの発行
不定期にて、北場協ニュースを発行する
- (4) 北海道ボウリング場協会としての組織のあり方を考える
変化を恐れず、今の危機的な現状をふまえて将来に続く組織のあり方を考える
また 2022年度も引続き積極的に未加盟センターを訪問し、協会加盟に結びつくように努力したい
- (5) 各種大会への助成と協賛広告(会員向け事業)

第22回北海道プロ・アマオープンボウリングトーナメント	<u>200,000円</u>
第44回ジャパンオープンボウリング選手権協賛広告料	<u>66,000円</u>
- (6) 支部活動助成金の支払 (競技力向上事業 助成金)
令和4年度支部活動助成金の支払を年度末に実施する
算出方法は従来通り センター割・レーン割・均等割りをもって行い、令和5年3月中旬頃各支部口座に振り込みを実施する
- (7) 政界への陳情
北海道ボウリング場協会として、ボウリング業界への力強いご支援、ご協力を賜る為にも年に数回、計画的に要望書を持参し陳情することとしたい
- (8) 経済産業省の補助金制度
国の補助金制度等に該当する様であれば、場協会として申請をしていく
- (9) 北海道ボウリング場協会として
コロナ禍の中、会員の減少も受け止め、北海道ボウリング場協会としての今後の予算を含め・事業内容・活動内容・取組内容を総合的に検討し、事業費・運営費・管理費について十分に熟考していきたい
- (10) その他の件
 - ①BPAJ全国ボウリング競技大会
2023年は、日本商工会議所会頭杯争奪 BPAJ 全国ボウリング競技大会北海道大会の開催と成ります。一昨年から今年度への全国大会開催内容も大きく変化しており、早急に全国大会開

催の組織委員会をつくり各委員会の事業活動内容を再度詰め、北海道大会の開催要項、大会までの取組スケジュールを作成、併せて大会予算案の作成に当たりたい
今年度6月長野大会開催時のプログラムには次年度開催県としての告知が義務付けられており、カラー1ページで掲載される。協賛広告料としての200,000円は、BPAJ全国大会準備積立金より拠出する事とする

②北場協ホームページの改修

昨年度より検案事項と成っていました、北場協ホームページの改修は理事会において承認されており、現在事業委員会が中心と成り北場協が望むホームページの有り方等を業者と共に検討、併せて改修に係わる見積もりを数社に提出頂き検討中
本総会にて承認後、業者を決定し発注の予定。総務委員会としては一連の経費見積もりが適切かを確認し慎重に見極める

③北場協加盟共通商品券の印刷

北海道ボウリング場協会加盟共通商品券は、北海道クラシッククラブ道央支部、道南支部の景品に利用、北海道ボウリング場協会主催大会、クラシッククラブ月例会の褒賞として、また北海道ボウラーズ連盟、プロ協会北海道地区の利用もいただいている。今年度1000円券・500円券ともに在庫枚数が少なく成り各5,000枚を製作